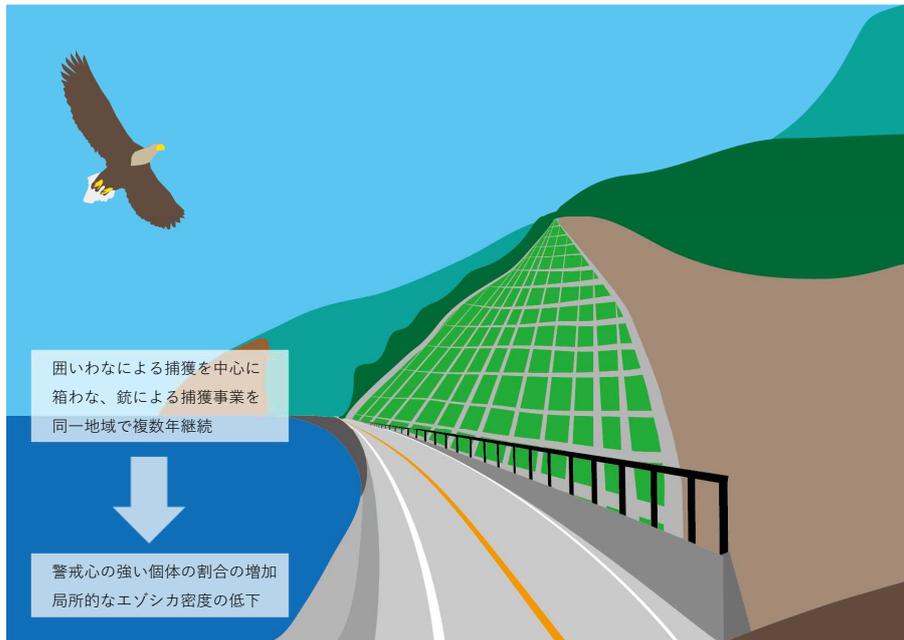


国有林野管理のための エゾシカ捕獲事業の継続と課題

知床森林生態系保全センター 一般職員 秋吉 由佳

背景



大型罠いわな
移設可能な箇所がないため、
撤去せず残置
(斜里町 弁財崎)



箱わな
針葉樹(アカエゾマツ)林で越冬する
エゾシカの捕獲を想定
(羅臼町 春河古丹)

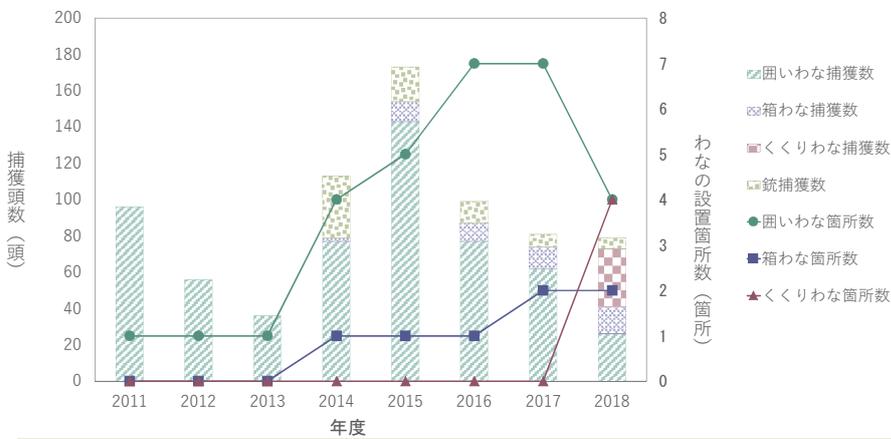


不嗜好植物で覆われ、
稚樹等のみられない地域
(2019年 斜里町 遠音別)



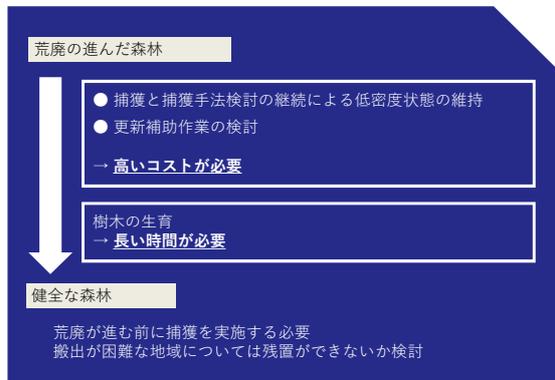
樹皮剥ぎによる枯死木が
発生した地域
(2019年 斜里町 ウトロ東)

取り組み



エゾシカ捕獲事業の推移

課題



防鹿柵(2013年設置)内の
稚樹(30cm以上)の推移
稚樹の発生、成長には5年程度必要
(ウトロ市街地)



冬季にシェルターとなっている
トドマツの天然林の被害木
沢に挟まれた地形で捕獲後の
搬出が困難であり、被害があるが
捕獲に至らない地域
(2019年 斜里町 ウトロ東)



くりわな捕獲個体の止め刺し
罠いわなによる捕獲効率の落ちた
地域ではくりわなが効果的



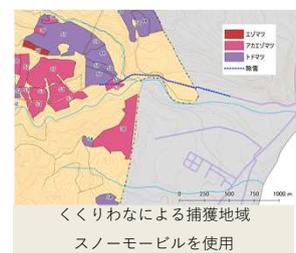
銃を用いた捕獲
遠距離射撃、モバイルリング、巻狩等、
銃を用いた捕獲を試行錯誤しながら実施



捕獲事業実施報告書の
ホームページへの公開



誘引作業
路網から離れた箇所から誘引



くりわなによる捕獲地域
スノーモービルを使用



キタコブシの稚樹
(2019年 斜里町 オシコンシン)



樹皮剥ぎによる枯損木が発生し
林冠が開くことにより
ササが繁茂した地域
(2018年 羅臼町 春河古丹)